横浜市立いずみ野小学校　学校だより　７月号　№519

いずみ野

令和３年６月30日
校長　齋藤　敦子

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/izumino/

学校教育目標　「自分が好き　友だちが好き　学校が好き　このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子～

心をたがやす

校長　齋藤　敦子

梅雨に入り、子どもたちは色とりどりの傘や長靴で登校する姿が増えてきました。昇降口に到着すると、どの子も上手に傘を束ねて教室に向かいます。

毎朝、「ねえ、見て！」と、１年生は生活科で育てている花の前で話をしてくれます。一人ひとりが植える前に教科書を見て調べたり、大人に尋ねたりして、育てたい花を自分で決めて育てています。優しく水やりをしたり水の量を加減したり、自分で決めた花だからこそ愛着をもってお世話ができます。こうして、子どもたちは生き物を大切にする心をたがやしていくのでしょう。

この時期、どの学年の子どもたちも生き物を育てています。４・５組はミニトマトを一人一鉢育てています。教室のすぐ外側にあるので毎日のお世話もすぐできます。鈴なりの実の色の変化に驚きと楽しさを感じていました。２年生と学び隊は夏野菜づくりをがんばっています。「そろそろ採ってもいいかなあ。」とタイミングを考えたり、質問したりしながら自分で決めて収穫し、「すごくおいしかったよ！」と感想を話してくれます。１～３年生はサツマイモづくり、４～６年生は米作り、理科の学習で４年生はヒョウタンを職員室前の花壇で栽培し、５年生は教室でメダカを育てています。トカゲ、ヤモリ、クワガタなど、育てる環境をしっかりと整えたケースに入れて育てている子も増え、いずみ野小学校は生き物でいっぱいです。

１年　生活科
「大きくなってきたよ！」

７月は「文月」とも言いますが、稲の穂が見えるようになる頃であることから、「穂見月（ほみづき）」が転じたという説もあるそうです。また、たくさんの野菜や果物、魚介などが旬を迎えます。野菜ではトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、トウモロコシなど、魚介ではアジ、アユ、ウナギ、アナゴなど、野菜は給食でも美味しく提供されています。６月は食育月間でした。１９日（土）は、地域の皆様に支えられながら実践されている本校の農業生産活動の取組が放映されました。各学級においても食育の目標を立てて、食の大切さを学んでいるのでご紹介いたします。≪学年共通の一部≫

４・５組…にがてなものでも一口はたべる	４年生…協力して残さず食べる
１年生……すききらいをへらす	５年生…みんなで完食をめざす
２年生……あじわって食べる	６年生…準備や片付けなど考えて行動する
３年生……お皿や食缶をぴかぴかにする	

全学年共通「感謝」

子どもたちは、『植物を育てる』、『生き物を飼う』活動を通して、感謝の気持ち、命の大切さ、まちのよさを学んで心をたがやしています。保護者の皆様、地域の皆様、今後も子どもたちの幸せのためにともに育てていただけますようお願いいたします。

６月１２日（土）の土曜参観は、人数制限にご理解をいただき開催することができました。ご参観の際は互いにソーシャルディスタンスを保ったり、会話を控えていただいたり、感染防止に向けた保護者の皆様の意識の高さに改めて感謝申しあげます。ありがとうございました。今後もまん延防止等重点措置再々延長に伴い、引き続き感染防止と熱中症防止対策に努めて参ります。